

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	福岡ホテル・観光&ウェディング専門学校
設置者名	学校法人 滋慶学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務専門課程	ホスピタリティビジネス科	夜・通信	240 時間	240 時間	
	ホスピタリティマネジメント科	夜・通信	320 時間	320 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.f-hospitality.ac.jp/public_info.html

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	福岡ホテル・観光&ウェディング専門学校
設置者名	学校法人 滋慶学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://www.f-hospitality.ac.jp/public_info.html

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社役員	令和3年6月 1日～令和6 年5月31日	地元の名士として 学校と地域の連携 を図る
非常勤	株式会社役員	令和3年6月 1日～令和6 年5月31日	地元の名士として 学校と地域の連携 を図る
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	福岡ホテル・観光&ウェディング専門学校
設置者名	学校法人 滋慶学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>本校では、学校としてのカリキュラムポリシーをベースに、学科単位のカリキュラムポリシーを設定している。このカリキュラムポリシーに基づき、年2回開催される教育課程編成委員会を始め、キャリアセンタースタッフによる企業訪問、教員による実習巡回等を通して収集した業界の変化やニーズを考慮したうえで養成目的と到達目標を設定し、カリキュラム編成を行っている。授業計画書はこれらを基に2月末までに作成され、学校ホームページに掲載すると共に、当該科目第1回授業にて担当教員より説明・周知している。授業計画書には、科目名、必須選択、授業形態、総時間、年次、開講区分、授業の学習内容、到達目標、授業計画/内容、準備学修/時間外学習、評価方法、受講生へのメッセージ、使用教科書/教材等が記載されている。また、実務経験のある教員による授業については、その実務経験の内容とそれを活用した教育内容についても記載している。</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.f-hospitality.ac.jp/public_info.html
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>各科目について出席率、授業態度、中間試験及び定期試験の成績、レポート並びに課題の成績を総合的に勘案し、以下に定める4段階評価とする。 A・B・Cを合格とし、Dを不合格とする。 A：100～80点 B：79～70点 C：69～60点 D：59～0点 尚、以下のいずれかに該当する場合は、定期試験の受験資格を失う場合がある。 ①履修すべき学科目のいずれかについて出席回数が3分の2未満の者。②平常授業内での課題未提出が著しく多い者。③授業料その他学費の未納者</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>各科目について出席率、授業態度、中間試験及び定期試験の成績、レポート並びに課題の成績を総合的に勘案し、次項に定めるS・A・B・C・Fで行いC以上を合格とする。</p> <p>成績評価はGPA制度 (Grade Point Average) を用いて行われる。</p> <p>GPA は各科目の成績から特定の方式によって算出される学生の成績評価値のことで、履修登録した科目毎の5段階評価を4.0から0までの点数 (GP = グレード・ポイント) に置き換え、単位数をかけ、その総和を履修登録単位数の合計で割った平均値である。</p> <p>GPAの評価対象科目</p> <p>評価対象となる科目は、基本的には通常授業科目で、かつ試験等で点数評価をされる科目。</p> <p>対象とならない科目は、特別教育分野の科目で、点数評価ではなく単位認定のみされる科目、例えば「海外実学研修」など。</p> <p>GPAの成績評価基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>出席率</th> <th>評価点数</th> <th>評価グレード</th> <th>合 否</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">66.7% 以上</td> <td>100～90点</td> <td>S (4.0)</td> <td>合 格</td> </tr> <tr> <td>89～80点</td> <td>A (3.0)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>79～70点</td> <td>B (2.0)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>69～60点</td> <td>C (1.0)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>59～ 0点</td> <td>F (0.0)</td> <td>不 合格</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 規定の出席率を満たし、S～C評価の場合は単位認定され (合格)、F評価は単位認定されない (不合格)。</p>		出席率	評価点数	評価グレード	合 否	66.7% 以上	100～90点	S (4.0)	合 格	89～80点	A (3.0)		79～70点	B (2.0)		69～60点	C (1.0)		59～ 0点	F (0.0)	不 合格
出席率	評価点数	評価グレード	合 否																		
66.7% 以上	100～90点	S (4.0)	合 格																		
	89～80点	A (3.0)																			
	79～70点	B (2.0)																			
	69～60点	C (1.0)																			
	59～ 0点	F (0.0)	不 合格																		
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.f-hospitality.ac.jp/public_info.html																				
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 各年次 57 単位以上を修得した者は、進級することができる。 2. 各年次 57 単位以上を修得し、最高学年において卒業認定されたものは卒業することができる。 3. 上記 1 に該当しない者は進級判定会議により最終決定する。 <p>上記の基準を満たさない者は、原級留め置き (留年) または卒業保留となる。</p> <p>卒業に必要な単位を修得している場合であっても、学費が完納されていない場合は卒業認定されない。</p> <p>このことは、学生便覧に記載し、学生へ周知している</p>																					
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.f-hospitality.ac.jp/public_info.html																				

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	福岡ホテル・観光&ウェディング専門学校
設置者名	学校法人 滋慶学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校ホームページにて掲載 https://www.f-hospitality.ac.jp/public_info.html
収支計算書又は損益計算書	学校ホームページにて掲載 https://www.f-hospitality.ac.jp/public_info.html
財産目録	学校ホームページにて掲載 https://www.f-hospitality.ac.jp/public_info.html
事業報告書	学校ホームページにて掲載 https://www.f-hospitality.ac.jp/public_info.html
監事による監査報告（書）	学校ホームページにて掲載 https://www.f-hospitality.ac.jp/public_info.html

2. 教育活動に係る情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	ホスピタリティビジネス科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2700 単位時間/単位	2400 単位時間 /単位	3450 単位時間 /単位	1350 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			7200 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240人		71人	3人	2人	25人	27人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>本校では、学校としてのカリキュラムポリシーをベースに、学科単位のカリキュラムポリシーを設定している。このカリキュラムポリシーに基づき、年2回開催される教育課程編成委員会を始め、キャリアセンタースタッフによる企業訪問、教員による実習巡回等を通して収集した業界の変化やニーズを考慮したうえで養成目的と到達目標を設定し、カリキュラム編成を行っている。授業計画書はこれらを基に2月末までに作成され、学校ホームページに掲載すると共に、当該科目第1回授業にて担当教員より説明・周知している。授業計画書には、科目名、必須選択、授業形態、総時間、年次、開講区分、授業の学習内容、到達目標、授業計画/内容、準備学修/時間外学習、評価方法、受講生へのメッセージ、使用教科書/教材等が記載されている。また、実務経験のある教員による授業については、その実務経験の内容とそれを活用した教育内容についても記載している。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要)</p> <p>各科目について出席率、授業態度、中間試験及び定期試験の成績、レポート並びに課題の成績を総合的に勘案し、以下に定める4段階評価とする。 A・B・Cを合格とし、Dを不合格とする。 A：100～80点 B：79～70点 C：69～60点 D：59～0点 尚、以下のいずれかに該当する場合は、定期試験の受験資格を失う場合がある。①履修すべき学科目のいずれかについて出席回数が3分の2未満の者。②平常授業内での課題未提出が著しく多い者。③授業料その他学費の未納者</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>卒業・進級判定基準は以下のとおりとする。 1. 各年次 57 単位以上を修得した者は、進級することができる。 2. 各年次 57 単位以上を修得し、最高学年において卒業認定されたものは卒業することができる。 3. 上記 1 に該当しない者は進級判定会議により最終決定する。</p> <p>上記の基準を満たさない者は、原級留め置き(留年)または卒業保留となる。</p> <p>卒業に必要な単位を修得している場合であっても、学費が完納されていない場合は卒業認定されない。</p>

<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>クラス担任制：有</p> <p>個別指導の徹底と、保護者との連携強化</p> <p>本校は担任制度を引いており、担任を中心にポートフォリオや個別面談等を駆使して一人ひとりの学生に対して細やかな支援を行っている。また、退学理由の分析や退学防止対策、成功事例などについて研修や勉強会を随時実施し担任力の向上を図ると共に、滋慶学園グループ独自の支援機関や支援制度を活用して退学率の低減に努めている。</p> <p>学生の相談支援機関として、滋慶トータスサポートセンター福岡を設置し、常駐のスクールカウンセラー（臨床心理士）がカウンセリングも実施している。</p> <p>留学生に対する支援や相談を包括的に実施する機関として国際交流COMがあり、その下に各地区に留学生担当を設け、担任と連動して留学生支援に当たっている。</p> <p>経済的支援については、相談窓口として事務局会計課を設置するほか、学費や奨学金、教育ローン等についてのアドバイスをするファイナンシャルアドバイザー及び奨学金担当者を配置している。また、学費分割納入制度、留年時の学費を免除する長期履修制度、滋慶学園独自の滋慶奨学金など、様々な支援体制を整備している。</p>
--

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
16人 (100%)	0人 (0%)	15人 (93.8%)	1人 (6.3%)
(主な就職、業界等)			
ホテル、リゾートホテル、シティホテル、統合型リゾート、旅行会社、レストラン、結婚式場、ドレスショップ、ホテル、プロデュース会社、空港など			
(就職指導内容)			
面接対策、履歴書作成支援、学校企業説明会の実施			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
ホテルビジネス実務検定：42.8%（3名/7名）			
マナー・プロトコール検定3級：50.0%（4名/8名）			
アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネーター検定：100%（10名/10名）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
75 人	8 人	10.7%
<p>(中途退学の主な理由) 進路変更、目的意識低下、金銭的理由</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>担任によるカウンセリング・保護者との連携強化や学生ひとり一人の対応を行っている。入学後から個別カウンセリングを行い、退学者減少に力をいれている。</p> <p>本校では教育システムの強化と共に一人ひとりの学生の状況を把握し問題発見、問題解決のサポートを行うことで例年、退学率の低減に成功している。今後は生活習慣の指導を強化し、モチベーションの維持を図っている。更に、ファイナンシャルアドバイザー・奨学金担当・事務局会計課による経済的相談支援及び留年時の学費を免除する長期履修制度や学費分割納入制度などの経済支援制度によって経済的理由で中退防止に努めている。加えて、進路変更を考える学生に対しては、学園グループ姉妹校（80 校）への再入学・編入学を可能とする進路変更制度で学生のニーズに応じて中退を防止している。</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	ホスピタリティマネジメント科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3600 単位時間/単位	2130 単位時間 /単位	2730 単位時間 /単位	1230 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			6090 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	14人	0人	2人	10人	12人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>本校では、学校としてのカリキュラムポリシーをベースに、学科単位のカリキュラムポリシーを設定している。このカリキュラムポリシーに基づき、年2回開催される教育課程編成委員会を始め、キャリアセンタースタッフによる企業訪問、教員による実習巡回等を通して収集した業界の変化やニーズを考慮したうえで養成目的と到達目標を設定し、カリキュラム編成を行っている。授業計画書はこれらを基に2月末までに作成され、学校ホームページに掲載すると共に、当該科目第1回授業にて担当教員より説明・周知している。授業計画書には、科目名、必須選択、授業形態、総時間、年次、開講区分、授業の学習内容、到達目標、授業計画/内容、準備学修/時間外学習、評価方法、受講生へのメッセージ、使用教科書/教材等が記載されている。また、実務経験のある教員による授業については、その実務経験の内容とそれを活用した教育内容についても記載している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>各科目について出席率、授業態度、中間試験及び定期試験の成績、レポート並びに課題の成績を総合的に勘案し、以下に定める4段階評価とする。 A・B・Cを合格とし、Dを不合格とする。 A：100～80点 B：79～70点 C：69～60点 D：59～0点 尚、以下のいずれかに該当する場合は、定期試験の受験資格を失う場合がある。①履修すべき学科目のいずれかについて出席回数が3分の2未満の者。②平常授業内での課題未提出が著しく多い者。③授業料その他学費の未納者</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>卒業・進級判定基準は以下のとおりとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 各年次 57 単位以上を修得した者は、進級することができる。 各年次 57 単位以上を修得し、最高学年において卒業認定されたものは卒業することができる。 上記 1 に該当しない者は進級判定会議により最終決定する。 <p>上記の基準を満たさない者は、原級留め置き(留年)または卒業保留となる。</p> <p>卒業に必要な単位を修得している場合であっても、学費が完納されていない場合は卒業認定されない。</p>

<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>クラス担任制：有</p> <p>個別指導の徹底と、保護者との連携強化</p> <p>本校は担任制度を引いており、担任を中心にポートフォリオや個別面談等を駆使して一人ひとりの学生に対して細やかな支援を行っている。また、退学理由の分析や退学防止対策、成功事例などについて研修や勉強会を随時実施し担任力の向上を図ると共に、滋慶学園グループ独自の支援機関や支援制度を活用して退学率の低減に努めている。</p> <p>学生の相談支援機関として、滋慶トータスサポートセンター福岡を設置し、常駐のスクールカウンセラー（臨床心理士）がカウンセリングも実施している。</p> <p>留学生に対する支援や相談を包括的に実施する機関として国際交流COMがあり、その下に各地区に留学生担当を設け、担任と連動して留学生支援に当たっている。</p> <p>経済的支援については、相談窓口として事務局会計課を設置するほか、学費や奨学金、教育ローン等についてのアドバイスをするファイナンシャルアドバイザー及び奨学金担当者を配置している。また、学費分割納入制度、留年時の学費を免除する長期履修制度、滋慶学園独自の滋慶奨学金など、様々な支援体制を整備している。</p>
--

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
ホテル、リゾートホテル、シティホテル、統合型リゾート、旅行会社、空港、レストランなど			
(就職指導内容)			
面接対策、履歴書作成支援、学校企業説明会の実施			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネート検定：100%（4名/4名）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%

(中途退学の主な理由)
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任によるカウンセリング・保護者との連携強化や学生ひとり一人の対応を行っている。入学後から個別カウンセリングを行い、退学者減少に力をいれている。 本校では教育システムの強化と共に一人ひとりの学生の状況を把握し問題発見、問題解決のサポートを行うことで例年、退学率の低減に成功している。今後は生活習慣の指導を強化し、モチベーションの維持を図っている。更に、ファイナンシャルアドバイザー・奨学金担当・事務局会計課による経済的相談支援及び留年時の学費を免除する長期履修制度や学費分割納入制度などの経済支援制度によって経済的理由で中退防止に努めている。加えて、進路変更を考える学生に対しては、学園グループ姉妹校（80校）への再入学・編入学を可能とする進路変更制度で学生のニーズに応じて中退を防止している。

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
ホスピタリティビジネス科	100,000 円	660,000 円	720,000 円	
ホスピタリティマネジメント科	100,000 円	660,000 円	720,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.f-hospitality.ac.jp/public_info.html
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校関係者評価において自己点検評価を基に 1 教育理念、2 学校運営、3 教育活動 (教育課程) 4 学習成果、5 学生支援 (進路指導・生活指導)、6 教育環境、7 学生募集、8 財務、9 法令順守、10 社会貢献・地域貢献の項目に関する評価を委員の方々にして頂いております。評価委員会は次に掲げる委員で組織されております。業界関係者 4 名 高等学校関係者、近隣関係者、卒業生代表、保護者代表の 8 名です。毎年開催される評価委員会における評価を基に 9 月から次年度に向け改善策を盛り込んだ教育活動方針や学校運営案を教務部長を中心に各学科長と共に作成して改善を図っております。 各委員の任期は 1 年でありその評価はホームページにおいて公表されております。ま

た業界等委員の講師と共に教育課程編成委員会を開催し教育課程の見直しを常に行っております。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
あ・うん企画 主催	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	企業等委員
株式会社プライムコンセプト 専務取締役	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	企業等委員
ANA 福岡空港株式会社 総務部人事課 マネージャー	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	企業等委員
ヒルトン福岡シーホーク 人事部 スーパーバイザー	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	企業等委員
福岡県立香椎高等学校 校長	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	高等学校代表
福岡市大浜公民館 館長	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	地域代表
在校生保護者	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	保護者代表
2022年度卒業生	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	卒業生代表
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.f-hospitality.ac.jp/public_info.html		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.f-hospitality.ac.jp/public_info.html
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H140313000458
学校名	福岡ホテル・観光&ウェディング専門学校
設置者名	学校法人 滋慶学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		33人	32人	35人
内 訳	第Ⅰ区分	18人	19人	
	第Ⅱ区分	-	-	
	第Ⅲ区分	-	-	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				35人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人		
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	0人		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	-		
「警告」の区分に連続して該当	0人		
計	0人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
年間	0人	前半期	後半期

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人		
G P A等が下位4分の1	-		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	-		
計	-		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。